



(公財)神戸市公園緑化協会は、シェアウッズ、神戸スマイルプロジェクトとともに「Kobeもりの木プロジェクト」を立ち上げ六甲山の手入れから発生する材の活用を考え、利用していく仕組みづくりをすることで神戸の森と暮らしを守ることに繋げる”ことを推進しています。



まさに間伐材そのものです。色々な樹種の木が保管されています。
なんだかテンションが上がってしまいますね。

木材ですから当然重いです。
運ぶのもなかなかの重労働。
現場ではこれを製材する作業が始まります。



どこにどうやって使うのかを
現場監督と相談中。

結果として、テーブルと壁面の装飾として活用する事になりました。
木のいい香りと多様な樹種が混在することでオモシロイ風合いが生まれています。



今回の須磨離宮公園レストハウスの改装に際して、六甲山の間伐材を活用しませんかとの打診がありました。
わたしたちも公園にふさわしいナチュラルで落ち着く空間づくりをコンセプトとし木を多用したインテリアを考えていたので喜んで利用させていただく事にしました。
間伐材がテーブルや壁に生まれ変わるまでのストーリーでした。
次もその次の世代にもこの六甲の素敵な山を残していきたいですね。

ちなみに床には
岡山の西粟倉村の
間伐材の杉板が
使われています。

